

編集後記

学会ニュース第87号をお届け致します。

今号も盛りだくさんの内容となりました。まず、湯澤直美副会長による巻頭言をはじめ、日本社会福祉学会第69回秋季大会の開催案内を都築光一先生に、第69回春季大会の報告を岡田進一先生にご執筆頂きました。また、地域ブロック情報として関東地域ブロックと中部地域ブロックが紹介されており、秋山智久先生は「心を痛め、謙虚に学び、真剣に怒るーそして福祉哲学の構築をー」という原稿を通じて、日本社会福祉学会員に「まともな研究者は怒るべき」と警鐘を鳴らしてくださいました。シリーズ「これからの社会福祉学に期待すること」の第3回目である秋山先生の前稿には、「エビデンスだけでいいのか」「ソーシャル・ケースワークはアートである」「アートとは技術+価値判断である」「研究のための研究」「業績のための研究」「まともな研究者は怒らなければならない」など、心に刺さってくる内容ばかりで、私はとても考えさせられましたが、皆さんはいかがでしたでしょうか。

研究支援委員会と広報委員会からは、新事業の紹介がありました。研究支援委員会の新事業「若手ネットワークCS-NET」は、若手研究者のニーズに応えた「若手研究者のための自主的・自発的コミュニティ」と思われます。多くの若手研究者のご関心やご参加を楽しみとしています。また、広報委員会では、「学会公式Twitterアカウント」を開設しました。学会員だけでなく非学会員に本学会の活動を見て頂き、それが学会の発展につながるように、フォローなどご協力頂きたいと思います。なお、本文には紹介できませんでしたが、今号から「外国語HPワーキンググループ」が正式に稼働します。年3回刊行される「学会ニュース」を英語、韓国語、中国語に翻訳し、学会HPに掲載していく広報委員会の新事業です。これを通じて日本社会福祉学会の活動が世界に発信できるのを期待しています。

最後に、大雨による被害が大きいという、とても悲しいニュースが毎日放送されています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、怪我された方や生活基盤を失われた方など被害を受けた方々の日常が一日でも早く戻ってくるように、社会福祉にできること、日本社会福祉学会にできることを共に悩み、共に実践し、それらを「学会ニュース」などで発信していきたいと考えています。

姜 民護(同志社大学)